

1620
66

保存期限	決裁指定	決行指定	閱
------	------	------	---

大臣		局長		主務課長		主務課員		審案		件名 滿洲國司法官ニ関スル件 參與官 三九九(濟)起元應(課)名 軍務局軍事課
次官		高級副官		書記官		審記者		筆記者		
政務次官		參與官		書記官		審案		筆記者		
主務局長		主務課長		書記官		審案		筆記者		
受領番號		提出		受領		受領		了結		政務次官回付 決裁前後連帶 參與官回付 決行(決裁)後 回覽課名
昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		
連帶		連帶		連帶		連帶		連帶		
局長		局長		局長		局長		局長		
決行(決裁)後		決行(決裁)後		決行(決裁)後		決行(決裁)後		決行(決裁)後		
局長		局長		局長		局長		局長		
課長		課長		課長		課長		課長		
局長		局長		局長		局長		局長		

次官ヨリ関東軍参謀長宛電報(暗号)

承認問題 治外法権撤廢問題 銓議上ノ参
考ニ資スル爲滿洲國司法官殊ニ日本人司法官
任用状況承リ度

追テ司法省ニ於テハ要求アリ次第優秀ナル
司法官ヲ派遣ニ得ル如ク準備シアル由ニ付
申添フ

陸清一八七

昭和七年七月拾七日

(南)

八六

臣

目

宗國

（軍）

秘

参同文

昭和七、七、二五、

六、二四後、四、五、一〇、
著

陸軍次官宛

關東軍参謀長

關参満 八七

陸満 一一八六迄

滿洲國司法官任用ノ狀況左、如ク目下日
本人官吏、占メアル枢要地位ハ司法部
總務司長、司法務司長、同總務司、人事
課長、會計課長、代理法務司、刑事課長
等ナリ

左記

司法官任用ノ狀況

現在、概況並ニ將來、方針

(1) 滿洲人、事變前後著シク人員、異動アリ
 タルハ最高法院及最高檢察廳（事變
 前ハ最高法院東北分院及最高法院
 東北分院檢察處ト呼稱セリ）ノミニシテ
 最高法院ハ推事十五名中十二名ヲ新ニ
 任命シ最高檢察廳ハ檢察官四名中二
 名ヲ新ニ任命セリ
 而シテ新ニ任命シタル最高法院推事及
 最高檢察廳檢察官ハ其ノ大部分ヲ
 各高等法院又ハ高等檢察廷、推事
 又ハ檢察官中ヨリ拔擢登用シタルヲ以
 テ更ニ之等ヲ補充スルカ為ニ司法官ニ

多少ノ異動ヲ行ヒタリ

然レトモ司法部成立後日尚残キ今日俄ニ
 廣範圍ニ亘ル異動ヲ行フコトハ人心ヲ不
 安ニ道ナリ所以ナルヲ以テ暫ク現状ヲ
 維持シ各種ノ機關ノ業務運用ノ狀態並
 ニ司法官個人ノ成績ヲ考查シテ尙後ノ處
 置ヲ決定スル所存ナリ

(四) 日本人司法ノ鴻正ナル運用ヲ妨ケサル司法
 權ト行政權トノ混淆ヲ防止スルコトハ極
 メテ緊要ナルヲ以テ司法部分課規定ノ作
 製ニ意ヲ用ヒ各種司法ノ要衝ニ少數ノ日
 本人ヲ配置シテ以テ最短期間内ニ司
 法行政權ノ確立ヲ期スヘク努メタリ

而之司法行政權、確立ヲ待タスシテ法院
 又ハ檢察廳ニ日本人ノ推事、又ハ檢察官
 ヲ任用スルニ到底其業務ヲ遂行スルコト
 能ハサルヲ以テ中央部ニ於テ檢察事務
 ノ細工ヲ早ラスル必要上、僅ニ一名ノ檢察
 官ヲ最高檢察廳ニ配置スルニ止メタリ
 然レトモ全國司法會議ヲ完備シテ司法
 部ノ方針ヲ各地方ノ司法機關ニ徹底セ
 シメ、且ツ全國司法機關ノ豫算ノ統一
 的編成ヲ行ヒ司法經費ヲ司法部ニ於テ查
 定配布シ得ルニ到レルヲ以テ主要地（長春
 奉天、哈爾濱、齊齊哈爾）ノ司法機關ニ日
 本人推事又檢察官ヲ配置任用シテ以テ

裁判並ニ檢察事務ヲ指導監督屬セルナルノ
 要アリ
 就中滿洲國ノ現状ニ於テハ檢察事務ノ
 指導ナルカヲ注ク、必要アルヲ以テ最近
 ナ近來ニ長春、哈爾濱等ノ把要地ニ日
 本人檢察官ヲ配置スルコト、致シ度

不出